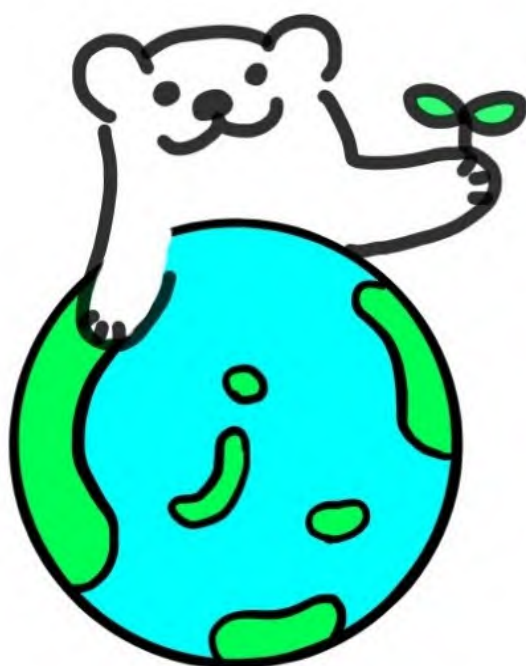


環境経営レポート

2022年版

<2022年9月1日～2023年8月31日>



日信商工株式会社

2023年11月9日発行



エコアクション21[®]

認証番号0012660

目次

1. 会社概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 推進体制	5
4. 環境経営目標	6~7
5. 環境経営計画	8~9
6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容 . . .	10~13
7. 環境関連法規制の遵守状況	14
8. 安全活動	15
9. その他環境活動	15~16
10. カーボンニュートラルに向けて	17
11. 代表者による全体の評価と見直し	18

1. 会社概要

■ 概要

- (1) 社名
日信商工株式会社（英文表記：NISCO CO.,LTD）
- (2) 所在地（本社・工場）
〒335-0032
埼玉県戸田市美女木東2-2-2
- (3) 代表者
代表取締役社長 関口 良平
- (4) 設立
1967年11月
- (5) 資本金
1,000万円
- (6) 事業規模
売上高：1440百万円（2022年9月～2023年8月）
従業員数：本社31人 熊本事業所9人 NISCO熊本11人
（2023年8月31日時点）
床面積：本社520㎡ 熊本事業所131㎡ NISCO熊本627㎡
- (7) 事業内容
半導体製造装置機器部品及び関連装置機器の開発設計と製造販売
クリーンルーム内設備機器の開発設計と製造販売
テフロン等フッ素樹脂、その他樹脂溶接・加工
タンク、槽、容器、器具類の開発設計と製造販売
耐薬品用ポンプ、耐薬品制御用バルブの開発設計と製造販売
ガススクラバー開発設計と製造販売
- (8) 環境管理責任者及び担当者
責任者：横塚 雅人
連絡先：TEL 048-421-1234
FAX 048-422-0175
URL <http://www.nissin-nisco.co.jp>

■ 沿革

- 1967年11月
東京都板橋区にて日信商工株式会社設立
埼玉県戸田市に営業所及び工場を建設し
半導体製造装置機器部品の開発設計と製造販売を開始
- 1977年9月
第2工場を建設
- 1986年11月
現在地の戸田市美女木工業地区に新工場建設・移転
- 1987年4月
上記同地に本社・営業機能を移転
- 1988年3月
台湾国策による半導体製造工場建設へ参画
- 2014年2月
クラス1000クリーンルームを設置、運用を開始
- 2016年3月
島津製オートグラフを導入、運用を開始
- 2021年4月
本社工場において再生可能エネルギー100%電力の使用を開始
- 2022年4月
新工場「NISCO熊本」稼働開始
クラス1000クリーンルーム完備

2. 環境経営方針

『地球人としての取組み』

当社は、樹脂製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとして捉え、次の行動指針を定めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 化学物質使用量の削減及び適切な管理
- ③ 廃棄物の削減および再資源化の推進
- ④ 排水量の削減
- ⑤ グリーン購入の推進
- ⑥ 提供する製品・サービスにおける環境配慮
- ⑦ 事業活動に伴う環境関連法規の遵守
- ⑧ 環境に配慮した新規事業の創出
- ⑨ 地域環境を良くするための活動の実施

先に定めた指針の中で①～⑦は定常活動であり、環境保全に関するより一層の共有知識化を推進します。活動実績が数値上のみで推移している現状、各グループによる活動のプレゼンテーションや新たな取組みに対し、表彰制度の導入等、活動実績を明確にして行きます。

また、⑧の環境配慮型新規事業の創出を具現化出来る様に、新たに推進室を設定します。



制定日：2017年10月1日

改訂日：2020年8月30日

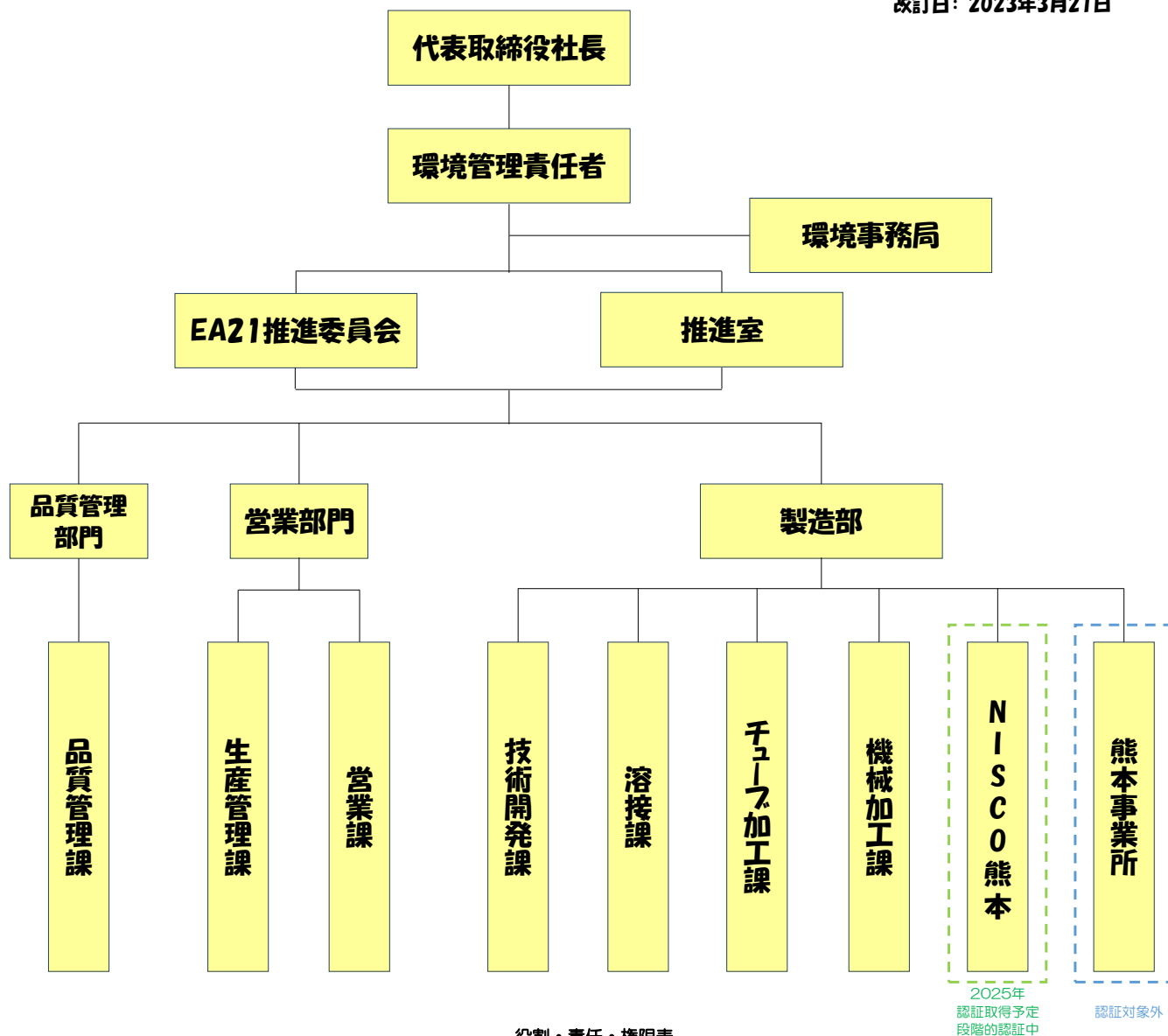
日信商工株式会社

代表取締役社長 関口 良平

3.実施体制

作成日：2017年9月20日

改訂日：2023年3月21日



役割・責任・権限表

対象者	役割・責任・権限
代表者（社長）	環境方針を策定し、従業員へ周知する。 EA21の実行に必要な資源（人・設備・費用）を用意する。 EA21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示を行う。 環境管理責任者の任命を行う。 環境目標・環境活動計画書の承認を行う。 環境活動レポートの承認を行う。
環境管理責任者	エコアクション21活動全般の運用状況を確認する。 エコアクション21の実施記録を経営者に報告する。 環境活動レポートの公表を行う。
環境事務局	環境管理責任者の補佐を行う。 各種環境関連文書の記録の管理をする。 EA21推進委員会を開催する。 環境活動レポートの作成を行う。 EA21推進委員会の取りまとめを行う。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連法規の遵守評価を行い、該当項目に関しては報告、及び届け出を行う。 環境活動の実績集計の取りまとめを行う。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口となる。

対象者	役割・責任・権限
EA21推進委員	環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施をする。 環境目標、環境活動計画書原案を作成する。 原則として一ヶ月に一回委員会を開催し実施状況の確認と必要な措置を検討する。 全体的な見直しのために必要なデータを集計する。
推進室	環境に配慮した新規事業創出における取りまとめを行う。 環境に配慮した新規事業創出のための調査、検討、計画を行う。 環境に配慮した新規事業の周知を行う。
部門責任者	環境活動計画の実施及び達成状況を環境管理責任者に報告を行う。 環境方針の周知を行う。 必要に応じ手順書作成及び運用管理を行う。 問題点の発見、是正、予防処置を実施する。 自部門の一般社員に対する環境教育を推進する。
全従業員	環境方針の理解と環境目標、及び取り組みの重要性を自覚する。 決定事項は遵守して、積極的に環境活動に参加する。 取り組みの実施状況を、各担当項目のEA21推進委員に報告する。 担当項目以外の環境保全活動への協力をする。

4. 環境経営目標

各年度の環境負荷の実績を基準として、2018年度～2022年度までの環境目標を次のように設定した。

	環境目標	単位	基準年度 実績	2018年 目標	2019年 目標	2020年 目標	2021年 目標	2022年 目標
CO ₂ 排出量	CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	54,686	52,225	51,820	51,170	50,765	50,235
			2017年度比⇒	△4.5%削減	△5.24%削減	△6.43%削減	△7.17%削減	△8.14%削減
		(kg-CO ₂)/百万円	70.75	67.57	67.04	66.20	65.68	64.99
			2017年度比⇒	△4.5%削減	△5.24%削減	△6.43%削減	△7.17%削減	△8.14%削減
	電力	(kWh)/百万円	137.4	136.1	134.7	133.3	実績把握とする	—
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減		△1%削減
廃棄物	ガソリン	(ℓ)/百万円	1.41	1.40	1.38	1.37	1.35	1.34
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
	事業系一般廃棄物	(kg)	3.13	実績把握とする	3.10	3.07	3.04	3.00
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
	産業廃棄物	(kg)/百万円	12.40	実績把握とする	12.28	12.15	12.03	11.90
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
水	有価物	(kg)/百万円	12.40	実績把握とする	12.28	12.15	実績把握とする	—
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減		△1%削減
	上水使用量	m ³	378.0	374.2	370.4	366.7	362.9	359.1
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
	グリーン購入率	%	22	25%以上	27%以上	29%以上	31%以上	34%以上
			基準年度比⇒	1.15%増	1.25%増	1.35%増	1.45%増	1.55%増
製品サービスの環境配慮 (梱包資材の削減)		(¥)/百万円	1,150	1,139	1,127	1,116	1,104	1,093
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
化学物質の適正管理	(回)		実績把握とする 実績値 9.4	ラッカーシナーの使用率 50%減	年一回のリスク アセスメントを 実施	年一回のリスク アセスメントを 実施	年一回のリスク アセスメントを 実施	年一回のリスク アセスメントを 実施
多能工技術者の育成	(人)					多能工化に向けたシステム構築 をする	多能工技術者 育成開始	多能工技術者 1人

基準年：二酸化炭素排出係数：0.474kg-CO₂/kWh（調整後排出係数）※平成28年度実績 公表：平成29年12月21日 東京電力エナジーパートナー(株)

2021年4月より再生可能エネルギー100%の電力の使用開始

2021年4月より：二酸化炭素排出係数：0kg-CO₂/kWh（調整後排出係数）※令和3年度実績 公表：令和5年1月24日 アスエネ(株)

2022年12月より：二酸化炭素排出係数：0kg-CO₂/kWh（調整後排出係数）※令和4年度実績 公表：令和5年12月22日 (株)アイ・グッド・ソリューションズ*

4. 環境経営目標

各年度の環境負荷の実績を基準として、2023年度～2027年度までの環境目標を次のように設定した。

	環境目標	単位	基準年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
C O 2 排 出 量	CO2排出量	(kg-CO2)	55,944	48,448	45,538	42,629	39,664	36,755
			2017年度比⇒ ※1	△13.4%削減	△18.6%削減	△23.8%削減	△29.1%削減	△34.3%削減
		(kg-CO2)/百万円	72.38	62.68	58.92	55.15	51.32	47.55
			2017年度比⇒ ※1	△13.4%削減	△18.6%削減	△23.8%削減	△29.1%削減	△34.3%削減
	電力	(kWh)/百万円	105.9	103.8	102.7	101.7	100.6	99.6
			2021年度比⇒	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減	△6%削減
	ガソリン	(ℓ)/百万円	1.41	1.33	1.31	1.30	1.28	1.27
			2017年度比⇒	△6%削減	△7%削減	△8%削減	△9%削減	△10%削減
	LPG	(kg)	419.6	415.4	411.2	407.0	402.8	398.6
			2020年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
廃 棄 物	事業系一般廃棄物	(kg)	3.13	2.97	2.94	2.91	2.88	2.85
			2018年度比⇒	△5%削減	△6%削減	△7%削減	△8%削減	△9%削減
	産業廃棄物	(kg)/百万円	12.40	11.78	11.66	11.53	11.41	11.28
			2018年度比⇒	△5%削減	△6%削減	△7%削減	△8%削減	△9%削減
	有価物	%	5.91	6.91	7.91	8.91	9.91	10.91
			2018年度比⇒	1%増	2%増	3%増	4%増	5%増
水	上水使用量	m ³	378.0	355.3	351.5	347.8	344.0	340.2
			2017年度比⇒	△6%削減	△7%削減	△8%削減	△9%削減	△10%削減
	グリーン購入率	%	22	36%以上	38%以上	40%以上	42%以上	45%以上
			2017年度比⇒	165%増	175%増	185%増	195%増	205%増
	製品サービスの環境配慮 (梱包資材の削減)	(¥)/百万円	1,150	1,081	1,070	1,058	1,047	1,035
			2017年度比⇒	△6%削減	△7%削減	△8%削減	△9%削減	△10%削減
	化学物質の適正管理	(回)		リスクアセスメントの実施	リスクアセスメントの実施	リスクアセスメントの実施	リスクアセスメントの実施	リスクアセスメントの実施
	多能工技術者の育成	(人)		多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	多能工技術者 1人

日信商工株式会社では、二酸化炭素排出量の目標を下記に設定する

「2030年に排出量を50%削減。2050年に排出量を実質ゼロ。」

基準年：二酸化炭素排出係数：0.474kg-CO2/kWh（調整後排出係数）※平成28年度実績 公表：平成29年12月21日 東京電力エナジーパートナー(株)

2021年4月より再生可能エネルギー使用開始

2022年12月より：二酸化炭素排出係数：0kg-CO2/kWh（調整後排出係数）※令和4年度実績 公表：令和5年12月22日 (株)アイ・グレート・ソリューションズ

※1 LPGの二酸化炭素排出量は2020年度の数値を適用

5. 環境経営計画（1/2）

		活動内容
二酸化炭素排出削減に関するもの	電力使用量の削減	2ヶ月に1回エアコンの掃除を行う
		4ヶ月に1回照明器具の掃除を行う
		天井埋込形エアコンの吹き出しにファンなどを付けて、 風を攪乱させる装置を導入する
		設備の定期点検と予防保全の実施する
		残業目標を設定し残業時間の削減を行う
		電気使用量データの見える化をし、社内で情報を共有する
	ガソリン使用量の削減	定期点検（タイヤ空気圧・オイル交換）を実施する
		車両記録に、走行距離と給油量を記入し、燃費実績確認による意識付けをする
		エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、 駐停車中のエンジン停止など）を励行する
		納期遅延を減らし、不要な持ち込み納品をしない
廃棄物排出量削減、 材料の歩留まりの 向上に関するもの	事業系一般廃棄物の削減	3S（整理・整頓・清掃）活動を推進する
		加工ミスによるロスの低減に努める
		製品の回収に繋がるクレームの発生を撲滅するため製品の品質管理に努める
		廃棄物のリサイクル移行を検討する
		廃棄物の処分先を定期的に、直接、確認する
	有価物（廃PFA、PTFE量） の削減	材料取りの寸法が適切か見直しを行い材料のムダを無くす
		端材を整理し、材料を有効に使用できるようにする
	梱包資材の削減	梱包方法は決められたルールを守り、余計な梱包資材を使用しない
		緩衝材、段ボールを再利用する
グリーン調達に関するもの	グリーン購入の推進	POPやリスト化によるグリーン購入品の購入を推奨する
		毎月購入したグリーン購入品を掲示し、社内で情報を共有する

5. 環境経営計画（2/2）

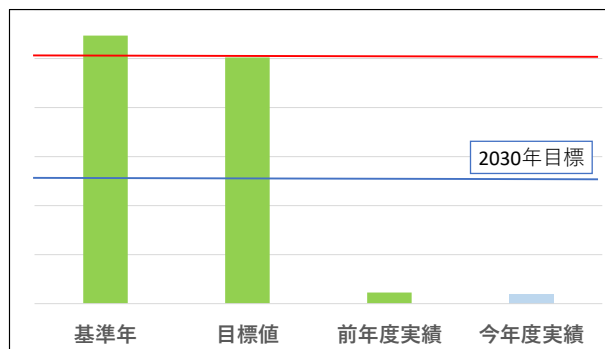
		活動内容
水使用量削減に関するもの	上水使用量の削減	節水を促す啓発ポスターを制作し水場に掲示し、手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する
		作業に支障のない範囲で、節水をできる洗浄方法などを模索し、それらの作業をルール化して運用する
化学物質使用量削減に関するもの	化学物質使用量の抑制及び管理	社内にて使用する化学物質のその種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録、管理する
		社内にて使用する化学物質のSDS最新版を年1回入手し、それを管理する
		入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する
		洗浄薬品などは、交換頻度を見直しを行い、使用量の削減に取り組んでいる
		使用する化学物質についてリスクアセスメントを実施する
その他の環境活動に関するもの	環境コミュニケーション	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供する等、消費者などに対して情報提供や啓発活動を行っている
	社会貢献	環境に関連する表彰制度を実施する
		会社周辺を定期的に清掃する
		ペットボトルキャップの回収を定期的に行い、寄付する(資源の再利用を行う)
		NGS活動をする。(NISCO Green Supportの略。緑化に関連する募金等を行う)
人材育成	多能工技術者の育成	スキルマップによるスキル見える化をする
		評価基準を制定する
		他の業務に触れる機会を作る
		外部講習等を利用しスキルの習得をする

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ CO2排出量の削減(総量評価 単位：kg-CO2)

達成状況:○ 凡例：○（達成）×（未達成）－（非該当）

基準年	54686
目標値(-8.14%)	50235
前年度実績値	2270
今年度実績値	1998



評価

電力会社撤退により一時は再エネ電力の使用が危ぶまれたが乗り換えができ、継続して再エネ電力の使用ができていたので問題なく達成できた。ただし、社用車のディーゼル車への変更によりCO2の排出量は増加傾向にあるので今後は社用車によるCO2排出量には注意が必要。

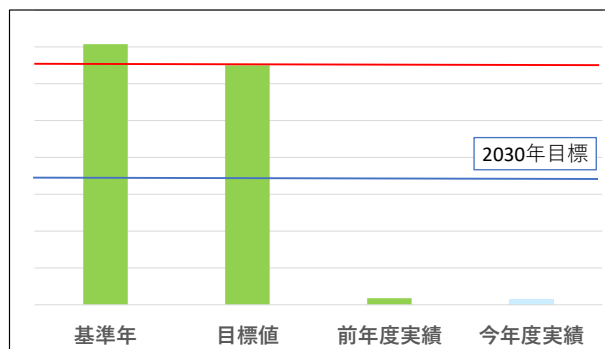
次年度の取組み

2030年の50%削減の目標に向け、CO2排出量の削減だけではなくCO2吸収の分野でも検討を始めていく。

■ CO2排出量の削減(原単位評価 単位：(kg-CO2)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○（達成）×（未達成）－（非該当）

基準年	70.75
目標値(-8.14%)	64.99
前年度実績値	1.79
実績値	1.40



評価

総量評価が大幅に達成できているので問題ない。
売上も維持できているので大幅に達成できている。

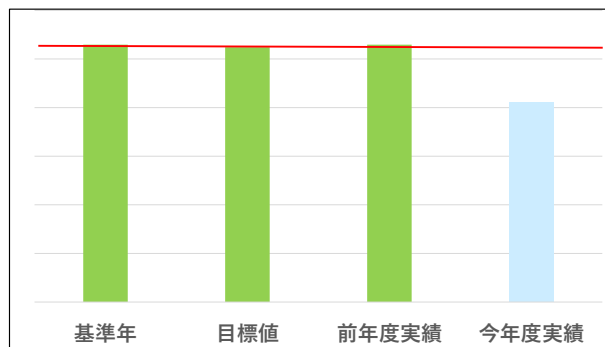
次年度の取組み

このまま継続して削減の取組みを行っていく。

■ 電力使用量の削減(原単位評価 単位：(kWh)/百万円)

達成状況：○ 凡例：○（達成）×（未達成）－（非該当）

基準年	105.9
目標値(-1%)	104.9
前年度実績値	105.9
実績値	82.0



評価

目標に対し大幅に削減することができた。その要因としては作業効率改善を意識した事で残業時間、休日出勤が減少し達成することが出来た。また、ホワイトボードによる電気使用量の周知などで節電に対する意識が高まったと考えている。

次年度の取組み

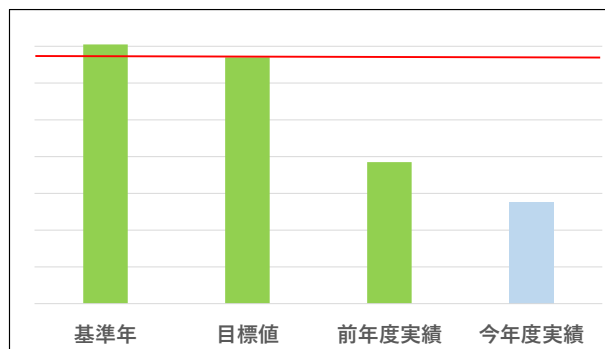
作業効率の改善は継続して実施し、社員各自に更なる節電の意識を持って頂ける様に、ホワイトボードなどを駆使し様々な視点から情報発信等を行っていく。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ガソリン使用量の削減(原単位評価 単位：(ℓ)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	1.41
目標値(-5%)	1.34
前年度実績値	0.77
今年度実績値	0.55



評価

12月に社用車を新規購入しディーゼル車に変わり、燃費が良くなった事で問題無く目標をクリアすることが出来た。ただ、軽油になったことによりCO2の排出係数は高くなっているので注意していく必要があります。不要な持ち込みは以前と比べるとほぼなくなっているので問題ありません。

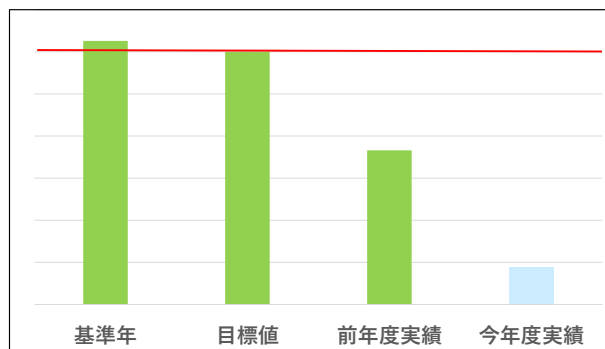
次年度の取組み

不要な持ち込み回数の減少は継続していくとして、今後は納品時のルートの最適化（距離/ルートなど）を検討していき、燃費や使用量の改善につなげていけたらと考えています。

■事業系一般廃棄物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	3.13
目標値(-4%)	3.00
前年度実績値	1.83
実績値	0.44



評価

一般廃棄物の中でリサイクルに移行できないかの検討を実施し、作業で使用しているゴム手袋のリサイクル回収をはじめました。2月から開始し半年間で約17kgを回収したため計算上では年間で約34kgの削減が見込まれ、今期の総重量約631kgで考えると約5%の削減が可能となる。

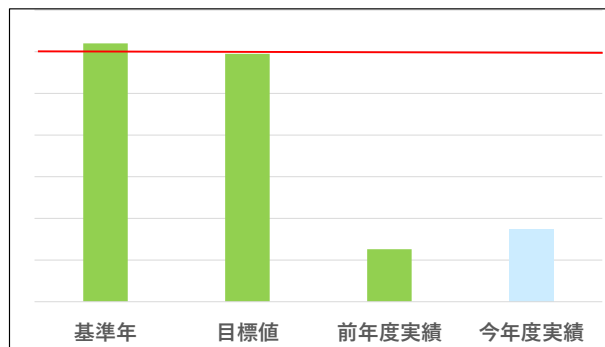
次年度の取組み

リサイクル化により廃棄量の削減に成功しているので、来期でも更なるリサイクル化に向け活動を進めていく。

■産業廃棄物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	12.40
目標値(-4%)	11.90
前年度実績値	2.52
実績値	3.46



評価

基準年に比べ、材料取りの見直しや加工ミスの削減、またリサイクル化の実施により廃棄量が大幅に削減できている。不用品の廃棄も年間を通して回数が減少しているのも要因の一つである。

次年度の取組み

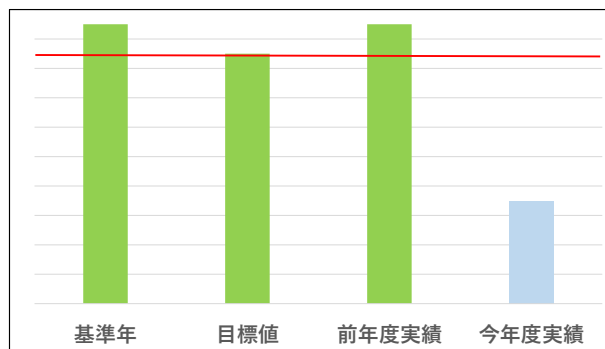
継続して「材料取りの見直し」、「加工ミスの削減」、「リサイクル化」をメインで活動し更なる削減につなげていく。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ 有価物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況：○ 凡例：○（達成）×（未達成）－（非該当）

基準年	1.59
目標値(-1%)	1.57
前年度実績値	1.59
今年度実績値	1.47



評価

目標は達成することができたが、有価物への変更の動きは加速している。

削減よりは増やしていく方が世の中の流れとしては正しいのではないかという考えに変わった。

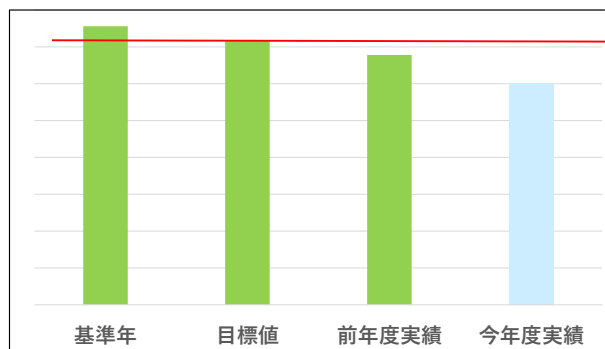
次年度の取組み

有価物を削減目標として活動してきたが、昨今の「サーキュラーエコノミー」の動きを鑑み、次年度より削減目標から増加推進目標に変更し、社内のリサイクル化を促進していく。

■ 上水使用量の削減(総量評価 単位：m³)

達成状況：○ 凡例：○（達成）×（未達成）－（非該当）

基準年	378.0
目標値(-5%)	359.1
前年度実績値	339.0
実績値	300.0



評価

今期は目標値より大幅に達成することができた。社員の意識がかなり高くなったと感じた。また毎日の使用量を一年を通して記録し、溶接槽検査等、イレギュラーな使用があった際も、把握、記録も同時に行った。この記録が、使用量急変時の原因究明に役立つと考えている。

毎月の使用量が、今年は大きな差がなく、平均的であった。22年度を考察基準、実力値と位置づけられると思う。

次年度の取組み

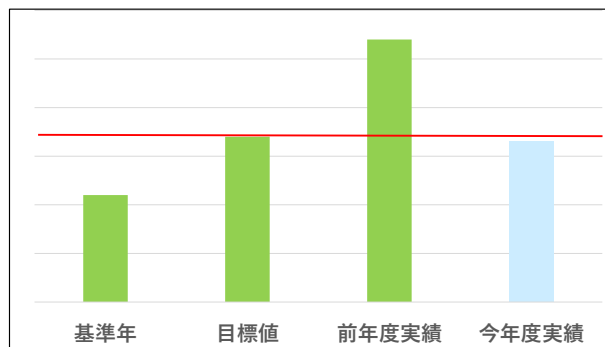
毎日の使用量記録は、来年も継続。一日の一人当たりの使用量など調べ、節水のヒントを模索。

節水の呼びかけなどを、今年度より強化し、使用量変化をしっかりと監視記録したい。

■ グリーン購入の推進(総量評価 単位：%)

達成状況：× 凡例：○（達成）×（未達成）－（非該当）

基準年	22
目標値(+1.55%)	34
前年度実績値	54
実績値	33



評価

今期は、一時、大幅に数値が落ちてしまったため目標達成するために注力した。

グリーン品は事務用品の頻度が基本的に割合を占めていたこともあり、後半で追いついたがあと一歩届かなかった。

しかし、購入品の掲示をすることで、どのようなものがグリーン製品であるかのアピールはできたと思います。

次年度の取組み

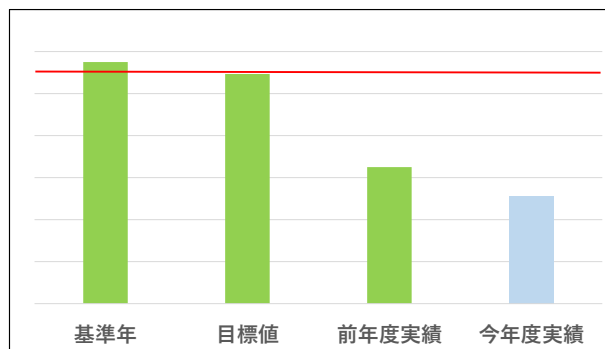
次年度は、みんなが物を大事に使用し、無駄な購入を抑えるような取り組みを促進していきたいと思います。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ 梱包資材の削減(原単位評価 単位：(¥)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	1150
目標値(-5%)	1093
前年度実績値	650
今年度実績値	512



評価

総量では基準年よりも多く購入したが、原単位での目標については達成出来ている。最近、世間の値上げ傾向は梱包資材にも影響し購入金額が上がっているが、原単位の評価が達成出来たのは、梱包資材の削減が出来ている結果だと思われます。

次年度の取組み

次年度も今年度と同様に、物価上昇のあおりや物量の変化などがあってもパフォーマンスの維持が出来る様、目標に沿った活動をしていきたいと思います。

■ 化学物質の適正管理(総量評価 単位：回)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	—
目標値	1
前年度実績値	1
実績値	1

評価

アセスメント内容に取り扱いの注意事項を追加した結果、昨年度発生した薬品による備品の溶けなどの事故は発生しなかった。使用方法の見直しにより薬品の使用量も10%程度削減することができた。

次年度の取組み

来期でも事故が発生しないように教育・管理を徹底する。
使用量の削減も継続して行う。

■ 人材育成

達成状況：○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	—
目標値	—
前年度実績値	—
実績値	—

評価

検定によるスキル習得の動きが広まってきている。今後は講習会にも参加しやすい様に情報発信を増やしていく。
評価基準が確定し、スキルマップのバージョンアップも実施中。育成の準備が整ってきた。

次年度の取組み

次年度より育成目標が開始するので、ターゲットを明確にし育成を進めていく。

7.環境関連法規制の遵守状況

1.廃棄物、リサイクル 関連法規見直し日 2023年8月1日 遵守評価日 2023年8月31日 【評価】遵守：○、不遵守：×

廃棄物処理法、戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		条項	実施状況	評価
一般廃棄物	一般廃棄物（又は一廃）委託基準を遵守しているか	6条の2	株式会社クリーンシティと契約書あり	○
	市の分別基準を遵守しているか	〃	遵守している	○
産業廃棄物 特別管理産業 廃棄物	産業廃棄物（又は産業）委託基準を遵守しているか	12条	株式会社クリーンシティ・株式会社FUJIの契約書あり	○
	特別産業廃棄物（又は特管物）委託基準を遵守しているか	〃	必要時に契約書の締結を実施	○
	委託品目が許可されているか	〃	許可されている	○
マニフェスト	B2票、D票は90日以内に、E票は180日以内に返っているか	12条の3	返ってきている	○
	マニフェストを5年間保管しているか	〃	保管している	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	〃	提出している	○
保管	産業廃棄物の保管基準が遵守されているか	12条2項	種類、管理者名、保管量を表示している 飛散、流出、悪臭が無い様に保管している	○
	特別産業廃棄物の保管基準が遵守されているか	12条の2	廃棄時には保管基準を遵守している	○
資源有効利用促進法		条項	実施状況	評価
廃パソコン、廃携帯電話の回収をメーカーに依頼したか		4条	専門業者に依頼。リサイクル証明書あり	○
プラスチック資源循環促進法		条項	実施状況	評価
プラスチック使用製品、産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等をしているか		4条	エコアクション21で取り組んでいる	○
自動車リサイクル法		条項	実施状況	評価
自動車リサイクル券があるか		-	車検証内にあり	○
廃車時に自動車引取業者に渡したか		8条	期間中廃棄なし	○
家電リサイクル法		条項	実施状況	評価
家電を廃棄するときに料金を支払い、リサイクル業者に渡したか（家電リサイクル券があるか）		6条	期間中廃棄なし	○

2.公害（大気関係）

自動車NOx・PM法	条項	実施状況	評価
ディーゼル車はNOx・PM対応車か（車検証で確認する）	12条	車検証で確認済	○

3.温暖化、化学物質、関連法規

フロン排出抑制法		条項	実施状況	評価
業務用エアコン、冷媒機器類を廃棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか		19条	廃棄なし	○
フロンマニフェストを3年間保管しているか		20条の2	委託確認書の確認	○
室外機及び室内機の点検		16条	簡易点検実施済	○
グリーン購入法		条項	実施状況	評価
グリーン購入法購入に積極的に取り組んでいるか		5条	エコアクション21で取り組んでいる	○
グリーン購入比率、又は購入件数の目標を設定し取り組んでいるか		8条	エコアクション21で取り組んでいる	○
道路運送車両法		条項	実施状況	評価
自動車の使用者	定期点検を行っているか（例 自家用トラック：6ヶ月に1回、乗用車：1年に一回）	48条	実施している	○
	点検整備記録を車両に備えているか	48条	備えている	○
労働安全衛生法		条項	実施状況	評価
リスクアセスメントを実施しているか		57条の3	エコアクション21で取り組んでいる	○

4.県条例、市条例

埼玉県生活環境保全条例		条項	実施状況	評価
アイドリング	アイドリングストップを行っているか	40条	行っている	○
戸田市生活環境保全条例		条項	実施状況	評価
廃棄物	廃棄物の処理その他の公害を防止	5条	行っている	○
悪臭防止法		条項	実施状況	評価
悪臭	工場及び事業場から発生する悪臭の規制	7条	クレームなし、社員による敷地境界線での臭気確認	○
騒音規制法・振動規制法		条項	実施状況	評価
騒音・振動	工場及び事業場から発生する騒音・振動の規制	—	特定施設なし	○

手順 1. 環境管理責任者は法規の制定、改定の情報に注意を払い、法規の改定に応じて本表を改定する。 使用停止後3年間保管
2. 環境管理責任者は毎年3月頃までに遵法性をチェックして、本表に記入する。

環境法規等の逸脱はありませんでした。
また、過去5年間にわたって、違反や告訴も1件も発生しておりません。

安全活動

■ 緊急事態の対応及び訓練状況

今期よりNISCO熊本においても避難訓練の実施を開始しました。

初めての実施ということもありバタバタしてしまいましたが問題点も見えたので今後改善していきます。

○本社 火災発生時訓練（2023年8月25日実施）

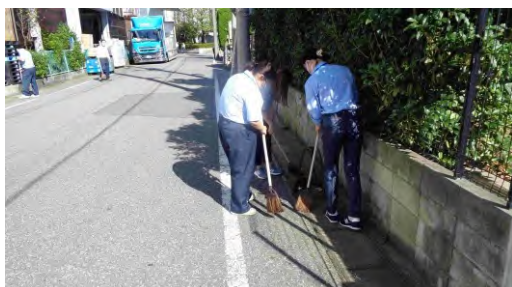


○NISCO熊本 火災発生時訓練（2022年10月20日実施）



その他環境活動

■ 会社周辺の清掃を月一回、社員全員で清掃活動を行っています。



その他環境活動

■ペットボトルキャップ回収と寄付を行いました。 (2023年9月21日までの回収分)

ペットボトルキャップの寄付も4回目になりました。
この活動も社内では当たり前になったので、このまま続けていきたいと思っています。

📄 寄付先の実績レポート

キャップ実績レポート			
日信商工株式会社 様			
このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。			
■今回のご提供キャップ (2023/09/29 分) (回収分)			
重量	個数 (概算)	預かり寄付金	
13.76 Kg	5,916 個	137 円	
フクチン種類	一人分の価格	合計	
ポリオ (小児麻痺)	約 20 円	約 6,85 人分	
※1kg = 約430個 = 約¥10の計算になります。 上記の金額はご提供いただいたキャップを当社の倉庫に保管するまでの市場価格により変動することがあります。 また、フクチンはポリオ以外にBCG (約¥7)・はしか (¥95)・麻疹 (約¥114)・DPT (約¥9) など、あります。 寄付金額 (重量 × 10 円) は一時的に限り、後日「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様へ送金いたします。			
CO2換算	43.34 kg	の削減に繋がりました。	
※CO2の換算方法は、キャップ1kg (約430個) をごみとして焼却するとCO2が3150g発生しますので、重量 (kg) × 3150g で計算しています。			
■これまでの合計			
総重量	48.81 Kg		

■ゴム手袋のリサイクル回収を始めました

作業で使用しているゴム手袋は使用量が多いため、それにつれ廃棄量も多かったのが現状です。(重量は多くないのですが、、、)
少しでも廃棄量を減らそうと考え、リサイクル化への移行の活動として始めました。
今後もリサイクル化を進めていきたいと思っています。

📄 リサイクル先の実績レポート

管理番号 20230818012		MIDORI WIDEACS リサイクル連絡票		受付日 20230818	
MIDORI WIDEACS					
送付事業者 情報	登録番号 17331563606	お客様名 日信商工株式会社	回収対象事業所 本社		
回収対象品目	一般作業服(送付先A群)	50 kg/年	ヘルメット(送付先B群)	22 kg/年	靴・手袋・メガネ・マスク・安全帯他(送付先C群) 51 kg/年
担当店	ミドリ安全 東京支店	電話 040-604-0710	営業担当者	メールアドレス	契約日 20230129
お客様記入欄 本社内					
会社名	日信商工株式会社	事業所名		引渡場所・郵便名・氏名	
郵便番号	3350032	住所	埼玉県戸田市美女木東2-2-2	連絡先電話番号	
引渡場所		特記事項		連絡先メールアドレス	
リサイクル 送付先群	1. 回収依頼内容 品目 点数 箱数 希望日 (リサイクル無し) 希望日	2. 回収決定報告 回収日 管理番号	3. 運搬 回収箱数 問合せ番号 運搬業者 搬入日	4. 中間処分 中間処分業者 処分完了日	5. 最終処分 最終処分日 報告者
【送付先A群】	一般作業服 (作業着・帽子は別)				
【送付先B群】	ヘルメット				
【送付先C群】	靴・手袋・メガネ・マスク・安全帯・指輪・ベルト・安全用品・防犯器具・帽子				
	記入 不要	20230823	20230818012	1	50150154106 松川昌徳様
				20230825	片岡製鋼
				20230902	最終処分無し
【注意事項】必ずお読み下さい。 1)【送付先A、B、C群】で其々送り先が異なるので、運搬業者回収の際は、必ず立ち合いの上、送り状と内容物が一致していることを確認して下さい。 2) 運搬業者・処分業者の安全確保等のため、又、夫々箱でしっかりと梱包の上、1ケース20kg以内として下さい。 3) 回収依頼は1回につき30箱以内として下さい。 30箱を超える場合は、連絡票を複数回に分けて依頼して下さい。回収日は連絡票毎に其々決定の上、ご連絡致します。 広域的認定業者: ミドリ安全株式会社 認定年月日: 平成22年7月23日 認定番号: 第189号					

カーボンニュートラルに向けて

昨今の情勢を鑑み、当社としてもカーボンニュートラル達成の目標を設定することとしました。



2030年に排出量を50%削減。

2050年に排出量を実質ゼロ。



現在、本社において再エネの使用により電力使用によるCO2排出は“実質ゼロ”になっており2030年目標は達成しているが、社用車による使用やNISCO熊本でのCO2排出に関しては、今後、対策が必要になってきます。

すでに対策の一環として、NISCO熊本での電力に対して非化石証書の購入により、“実質ゼロ”の動きを始めています。

社用車においては今後の対策について検討が必要となり、2050年の“実質ゼロ”目標にむけ活動していきます。

👉 非化石証書（NISCO熊本2022/9～2023/1分）

[illegible]

代表者による全体の評価と見直し

【環境経営方針】

各グループの活動報告において、取り組むべき事は出来ていると思います。しかしながら、活動内容はもっと精査する必要があると考えます。当初の活動目標は網羅出来ているが、その先の取り組みは新たな活動目標を策定し、角度を変えた視点を入れることで、既存目標数値も達成出来るもので、変化のない状態では、その先を見据えた活動はとん挫します。各グループの活動方針を定め、アプローチ方法に変化を持たせて取り組むことで、次の一步が見えて来るものです。グループ毎のプレゼンテーションや表彰制度に期待します。また、グループを超えた活動、例えば、有志での植林や海岸でのゴミ拾い等、社内エクスカージョンを取り入れることで意識醸成には有効と考えます。

【環境経営目標及び環境経営計画】

NISCO熊本での環境活動が目前となる中、活動の幅が広がることを期待します。現状の本社活動においては、先に記載した方針でも触れましたが、社内エクスカージョン実施が有効と捉え、新たな活動意識の醸成が目標となります。本年度は各グループのリーダー、人員の入替を実施しましたが、各々、活動指針を掲げ、コミュニケーションは一段階上がり、纏まりのあるグループ活動が生まれています。期初計画においては、全体的なCO2削減年度目標、有効性評価を軸に継続する活動と見直しを計り進めて行くこと。

【環境経営システムの各要素】

特になし

代表取締役社長

関口 良平